

平成28年度 島根県山陰道会議

日時：平成28年10月27日（木）

10:30～12:00

場所：島根県民会館303会議室

議 事 次 第

1. 開会

挨拶

2. 議事

- 1) 山陰道の事業進捗状況の報告
- 2) 事業促進に向けた課題解決に関する事項
- 3) 利活用に関する事項

3. その他

■事業中区間の進捗状況

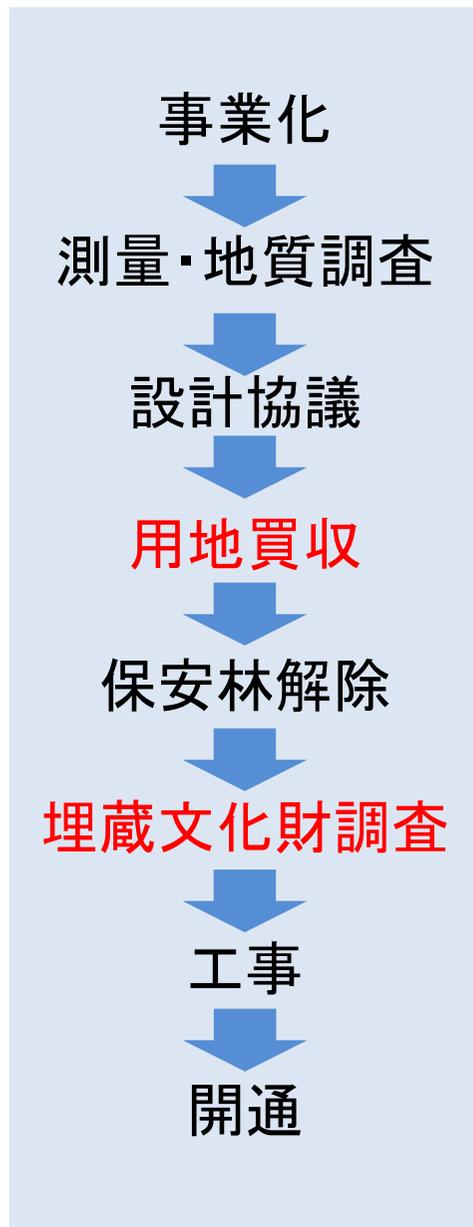
市町村	路線名	延長	開通予定	事業着手 (年度)	用地買収率 (注1)	埋蔵文化財調査完了率		主要構造物	
						試掘(注2)	本掘(注3)	着手率(注4)	完成率(注5)
						H27.3月末時点			
H28.9月末時点									
出雲市	出雲・湖陵道路	4.4km		H20	86%	68%	32%	50%	0%
					98%	93%	54%	50%	0%
	湖陵・多伎道路	4.5km		H24	19%	33%	0%	0%	0%
大田市	多伎・朝山道路	9.0km	H30年度 開通予定※1	H18	99%	100%	100%	80%	7%
					100%	100%	100%	92%	46%
	朝山・大田道路	6.3km	H29年度 開通予定※2	H19	99%	95%	84%	100%	0%
					100%	100%	94%	100%	0%
	大田・静間道路	5.0km		H24	5%	43%	0%	0%	0%
					96%	98%	48%	20%	0%
静間・仁摩道路	7.9km		H20	91%	53%	44%	22%	0%	
				95%	100%	66%	33%	0%	
浜田市	浜田・三隅道路	14.5km	原井～西村 H27.3.14開通 西村～石見三隅 H28開通予定	H16	100%	100%	100%	100%	85%
					100%	100%	100%	100%	100%
益田市	三隅・益田道路	15.2km		H24	1%	41%	0%	0%	0%
合計									

※1:用地取得及び猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合
 ※2:用地取得及び関係機関との協議等が速やかに完了する場合

 : 前回(H27.3)より30%以上増加箇所

注1:用地買収率=取得済み面積(m2)/必要面積(m2)
 注2:埋蔵文化財試掘調査完了率=試掘調査完了箇所数/試掘調査対象箇所数
 注3:埋蔵文化財本掘調査完了率=本調査完了面積(m2)/本調査対象面積(m2)
 ※試掘の結果本調査対象面積が変更になる場合がある。
 注4:主要構造物着手率=着手済み構造物数/全構造物数
 注5:主要構造物完成率=完成構造物数/全構造物数
 (定義)
 着手=現地着手済み
 完成=橋梁は床版まで完成、トンネルは本体工まで完成

■事業促進に向けた対応



用地買収から埋蔵文化財調査までの早期完了が重要

用地買収における対応

- ・国・県・市による体制の強化・維持
- ・用地難航箇所での早期買収の為に連携

用地難航理由

- ①相続人多数 ②多数共有地 ③筆界未定
④事業反対 ⑤価格不満

埋蔵文化財調査における対応

- ・調査人員体制の維持
- ・用地買収スケジュールとの調整
- ・突発事象時の迅速な対応

早期・本格的工事着手に向けた対応

工事用道路の早期完成・追加検討

残土処分場・仮置場の確保

山陰道の早期完成は 山陰・島根の未来を支えます

～山陰道の2020年全線開通に向けた取り組み～

島根県・出雲市・大田市・江津市・浜田市・益田市

山陰・島根の未来と山陰道の役割

総合計画

島根県・出雲市・大田市・江津市・浜田市・益田市

共通概念(目標)

「定住促進」「地域振興」

- ✓産業振興(企業誘致や観光振興など)
- ✓生活の質の向上(災害・医療・地域間のアクセス性など)

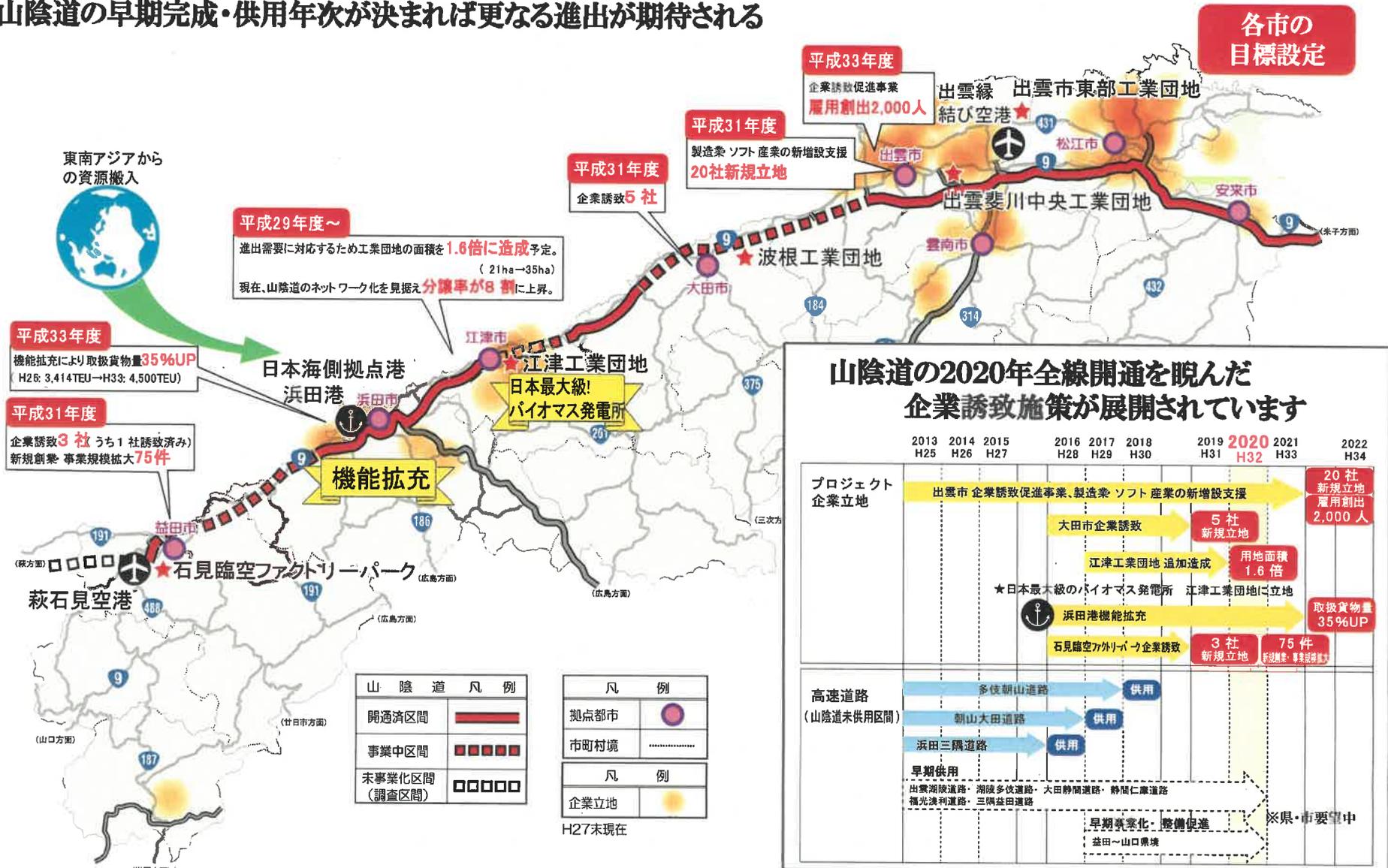
これらを支えるのは、

山陰道の早期完成

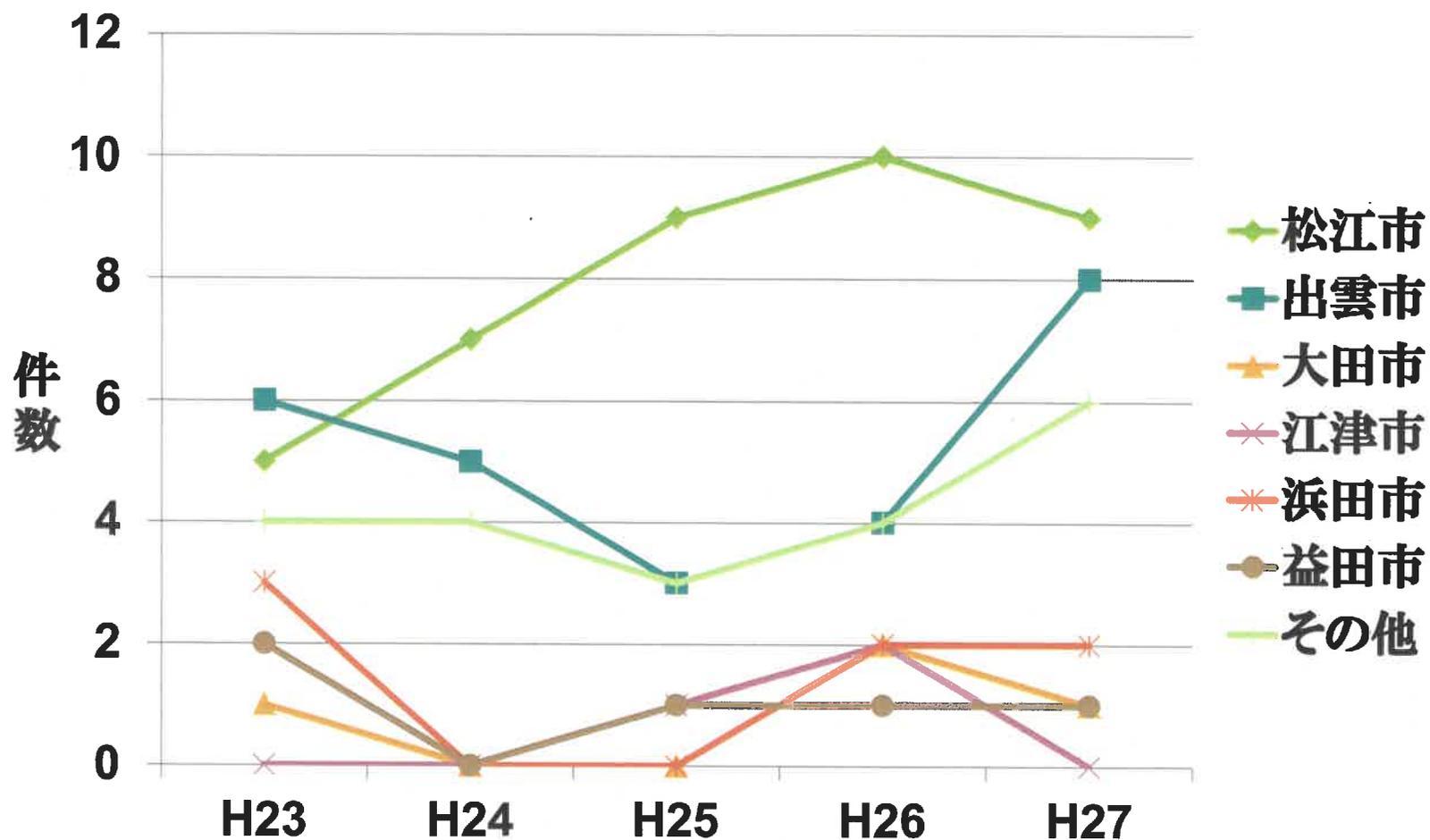
企業誘致

県・地元自治体で企業誘致を推進

平成20～27年度で県外からの企業進出99社。うち91社は高速道路沿線に立地
山陰道の早期完成・供用年次が決まれば更なる進出が期待される



立地計画認定企業の推移 (H23~H27)



※件数は各年度の新設又は増設数を抽出

観光振興

萩・津和野～島根県西部～松江・出雲間の広域観光の推進

島根県西部における観光振興を図るためには、
集客力のある松江・出雲圏域、萩・津和野圏域との広域連携が不可欠です。

平成32年度
インバウンド
25万人泊/年
平成28年認定
広域観光ルート「**緑の道～山陰～**」

2020年までに島根・鳥取両県への
インバウンド人口を2倍に！

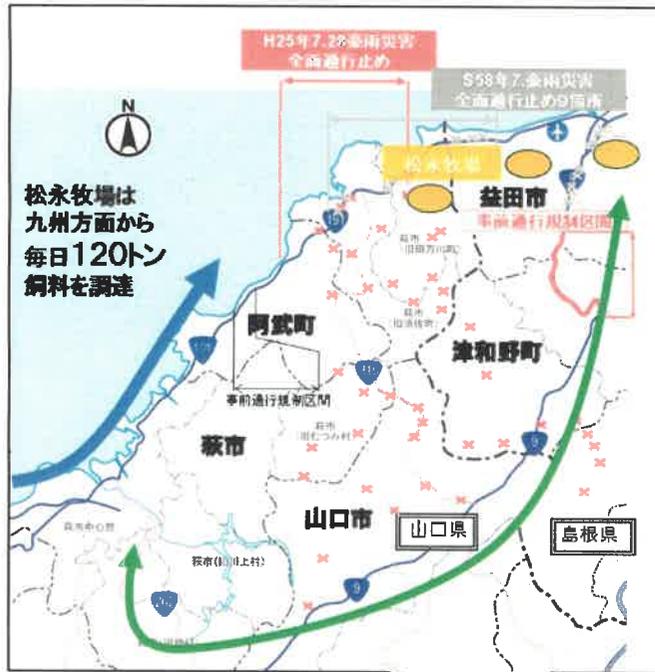


	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34
プロジェクト 観光振興								島根県・鳥取県 インバウンドの促進 緑の道～山陰～	観光入込客 25万人泊/年	
								出雲市 日本遺産認定に向けた取り組み		交流人口 1,000万人/年
								大田市 石見銀山世界遺産登録 10周年観光キャンペーン	観光入込客 180万人/年	
								大田市 (仮称)仁摩道の駅整備		
								江津市 石見銀山、人形湯神社など特本人形湯の軌跡をめぐる観光ルート 開発		
								浜田市 松江・出雲圏、萩・津和野との連携による広域観光の推進	宿泊客数 25万人/年	
								益田市 関係自治体、西部観光 振興団体と連携した魅力づくり	観光入込客 100万人/年	
								益田市 道の駅基本構想策定		
高速道路 (山陰道未供用区間)								多佐額山道路	供用	
								朝山大田道路	供用	
								浜田三隅道路	供用	
								早期供用 出雲灘駅道路・湖陵多岐道路・大田静間道路・静間仁摩道路 観光漁道道路・三隅浜田道路		
								早期事業化・整備促進 益田～山口車道		※県・市要望中

災害時の代替路

事故・災害時の代替路として 山陰道は大きな役割を果たす

国道9号、国道191号の通行止めの際には、大幅な迂回が必要となり地域経済に大きな影響を与えます。



H21.6 国道9号 大田市温泉津町地内

平成25年7月災害時 迂回路の所要時間・距離比較



◆ 山陰道の開通による効果 (RAEM-Lightによる予測)

▶ 山陰道が繋がることで、50年間*で3,700億円の既存産業が成長
 (*国土交通省費用便益マニュアルによる検討年数を参考に50年間の生産増加額を算出)

【参考】

島根県内未開通区間のコスト(事業費+将来維持管理費) 2,692億円
 [H28新規事業採択時評価資料より算出]

▶ 観光業(1,340億円)、機械金属工業(940億円)、食料品製造業(425億円)が大きく成長

▶ 特に九州・山口方面との取引で2,700億円の増加

◆ RAEM-Lightとは？

・道路整備による時間短縮の効果が、地域の経済にどの程度の経済的インパクトを与えるのかを貨幣単位で計測する手法

・新たな企業誘致による誘発効果は、計測対象外

【島根県の生産増加額(産業別)】



山口県との取引で特に伸びる産業

- ◆ 観光業 250億円
 - ・アクセス性の向上により両県連携の周遊観光ルートが形成され入込が拡大
- ◆ 機械金属工業 355億円
 - ・自動車、造船など大手メーカーや関連産業との取引が拡大
- ◆ 食料品製造業 115億円
 - ・食料品の鮮度、賞味期限が確保され出荷エリアが拡大

九州方面との取引で特に伸びる産業

- ◆ 観光業 790億円
 - ・アクセス性の向上により、広域観光ルートが形成され、入込が拡大
- ◆ 機械金属工業 370億円
 - ・自動車産業大手メーカーや関連工場が集積する九州エリアへ取引が拡大
- ◆ 食料品製造業 180億円
 - ・食料品の鮮度、賞味期限が確保され出荷エリアが拡大